



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 文化シャッター株式会社
 コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潮崎 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	126,928	5.9	5,283	10.6	5,164	10.5	3,053	12.0
2019年3月期第3四半期	119,863	12.6	5,909	71.6	5,771	68.9	3,470	524.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,800百万円 (59.2%) 2019年3月期第3四半期 1,759百万円 (31.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	42.60	37.53
2019年3月期第3四半期	48.41	45.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	165,630	74,750	45.0
2019年3月期	162,085	74,179	45.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 74,591百万円 2019年3月期 74,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		15.00	25.00
2020年3月期		12.50			
2020年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	8.8	11,000	12.2	11,500	6.5	7,600	4.2	106.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	72,196,487 株	2019年3月期	72,196,487 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	503,216 株	2019年3月期	503,081 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	71,693,325 株	2019年3月期3Q	71,693,444 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済においては、米中貿易摩擦の影響や中東情勢の緊張の高まり、欧州における英国のEU離脱問題等により不確実性が増しており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、126,928百万円(前年同四半期比5.9%増)となりました。利益面におきましては、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みましたものの、営業利益は5,283百万円(前年同四半期比10.6%減)、経常利益は5,164百万円(前年同四半期比10.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,053百万円(前年同四半期比12.0%減)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫及び大型商業施設向け重量シャッター等が堅調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,905百万円(前年同四半期比4.3%増)となりましたが、営業利益は4,437百万円(前年同四半期比14.1%減)となりました。

2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は52,952百万円(前年同四半期比5.2%増)となりましたが、営業利益は82百万円(前年同四半期比78.5%減)となりました。

3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が好調に推移しましたので、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,019百万円(前年同四半期比7.8%増)となり、営業利益は3,151百万円(前年同四半期比15.9%増)となりました。

4. リフォーム事業

ストック市場への取り組みとして、ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しており、連結子会社B Xゆとりリフォーム株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,420百万円(前年同四半期比7.7%増)となり、営業利益は71百万円(前年同四半期比145.1%増)となりました。

5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨や集中豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業が堅調に推移しましたので、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,629百万円(前年同四半期比29.7%増)となり、営業利益は356百万円(前年同四半期比214.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は165,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,545百万円増加しました。流動資産は95,371百万円となり、2,071百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少(8,772百万円)した一方で、商品及び製品が増加(7,238百万円)、流動資産のその他が増加(2,662百万円)したことが主な要因であります。固定資産は70,259百万円となり、1,474百万円増加しました。これは、のれんが減少(663百万円)した一方で、有形固定資産のその他が増加(2,126百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は90,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,974百万円増加しました。流動負債は57,088百万円となり、2,129百万円増加しました。これは、未払法人税等が減少(2,271百万円)、賞与引当金が減少(1,639百万円)した一方で、流動負債のその他が増加(4,653百万円)、支払手形及び買掛金が増加(1,087百万円)したことが主な要因であります。固定負債は33,791百万円となり、845百万円増加しました。これは、長期借入金が増加(936百万円)した一方で、固定負債のその他が増加(1,541百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は74,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ570百万円増加しました。これは、配当金の支払い(1,972百万円)、為替換算調整勘定の減少(537百万円)により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(3,053百万円)により増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,308	24,403
受取手形及び売掛金	46,356	37,583
商品及び製品	13,652	20,891
仕掛品	1,083	1,386
原材料及び貯蔵品	4,161	4,702
その他	3,835	6,498
貸倒引当金	△98	△93
流動資産合計	93,300	95,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,405	11,127
土地	12,321	12,476
その他(純額)	7,006	9,132
有形固定資産合計	30,733	32,736
無形固定資産		
のれん	5,246	4,582
その他	5,089	5,284
無形固定資産合計	10,335	9,867
投資その他の資産		
投資有価証券	18,301	18,349
退職給付に係る資産	1,765	1,782
その他	7,970	7,879
貸倒引当金	△321	△355
投資その他の資産合計	27,715	27,656
固定資産合計	68,784	70,259
資産合計	162,085	165,630

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,363	34,451
短期借入金	3,556	3,870
未払法人税等	2,660	389
賞与引当金	3,336	1,697
役員賞与引当金	123	131
工事損失引当金	116	93
その他	11,801	16,455
流動負債合計	54,959	57,088
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	1,268	331
役員退職慰労引当金	369	355
退職給付に係る負債	18,881	19,135
資産除去債務	52	53
その他	2,374	3,916
固定負債合計	32,946	33,791
負債合計	87,905	90,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,298	12,304
利益剰余金	43,105	43,941
自己株式	△156	△156
株主資本合計	70,298	71,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,250	4,658
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	△76	△76
為替換算調整勘定	△604	△1,142
退職給付に係る調整累計額	150	12
その他の包括利益累計額合計	3,720	3,451
非支配株主持分	160	158
純資産合計	74,179	74,750
負債純資産合計	162,085	165,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	119,863	126,928
売上原価	87,073	93,219
売上総利益	32,790	33,708
販売費及び一般管理費	26,881	28,425
営業利益	5,909	5,283
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	280	297
受取賃貸料	56	62
その他	168	155
営業外収益合計	523	533
営業外費用		
支払利息	51	127
持分法による投資損失	331	331
その他	277	192
営業外費用合計	660	652
経常利益	5,771	5,164
特別利益		
固定資産売却益	0	6
負ののれん発生益	43	—
段階取得に係る差益	57	—
抱合せ株式消滅差益	—	126
特別利益合計	100	132
特別損失		
固定資産売却損	4	7
固定資産除却損	2	24
災害による損失	—	19
特別損失合計	7	52
税金等調整前四半期純利益	5,865	5,245
法人税等	2,385	2,175
四半期純利益	3,479	3,069
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,470	3,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,479	3,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,332	362
為替換算調整勘定	△246	△473
退職給付に係る調整額	△64	△167
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	9
その他の包括利益合計	△1,720	△268
四半期包括利益	1,759	2,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,750	2,785
非支配株主に係る四半期包括利益	8	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産のその他が1,662百万円増加し、流動負債のその他が311百万円及び固定負債のその他が1,514百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は246百万円減少しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	44,983	50,332	16,715	5,032	117,064	2,799	119,863	—	119,863
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	3,321	28	390	5	3,745	187	3,933	△3,933	—
計	48,304	50,360	17,105	5,038	120,809	2,987	123,796	△3,933	119,863
セグメント 利益	5,163	385	2,719	29	8,297	113	8,411	△2,502	5,909

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,502百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,498百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に取得したBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD (旧社名: ArcPac Garage Doors Pty Ltd) の取得原価の配分について、暫定的な会計処理により、のれんを計上しておりましたが、追加支払額に基づく取得原価の調整及び取得原価の配分が完了したことにより、のれんが減少しております。これに伴うのれんの減少額(償却前)は、当第3四半期連結累計期間において、1,721百万円であります。

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、新たにB Xルーテス株式会社(旧社名: ルーテス株式会社)の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額(償却前)は、当第3四半期連結累計期間においては71百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「建材関連製品事業」セグメントにおいて、持分法非適用関連会社であった株式会社エコウッドの株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては43百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	46,905	52,952	18,019	5,420	123,298	3,629	126,928	—	126,928
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	3,513	25	490	18	4,048	153	4,201	△4,201	—
計	50,419	52,977	18,510	5,439	127,346	3,782	131,129	△4,201	126,928
セグメント 利益	4,437	82	3,151	71	7,742	356	8,099	△2,815	5,283

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,815百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,812百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、連結子会社であるBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTDが新たにARCO(QLD)PTY LTDの株式を取得し、同社及びその子会社であるRETROTECH DOOR SERVICES PTY LTDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては291百万円であります。